

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 <p>しばた しんご 柴田 晋吾</p>	<p>○森林の多面的価値実現と市民参加・協働による政策形成（アメリカ国有林の森林計画と国民参加、京都モデルフォレスト）： https://imfn.net/corporate-social-responsibility-kyoto-style</p> <p>○森林生態系サービスの価値化手法 https://innofesweb.wixsite.com/innofes/about?lang=ja /新たなサービス経済の可能性 https://shibatashingo.wixsite.com/mysite/blank-6</p> <p>○レクリエーション・ツーリズムと環境価値にお金を払う PES（生態系サービスへの支払い）（高校生向けの「こんな研究をして世界を変えよう」）： https://www.sekaiwokaeyo.com/theme/k0662/</p> <p>https://researchmap.jp/7000006623</p>	<p>グローバル・リノベーターが本学のキャッチコピーです。世界に通用するフォレスターを目指す意欲ある皆さんを待っています。</p> <p>最先端の理論とともに、フィールドワークを重視している本学では、演習林以外にも協定を結んでいる国有林の多様な施業林やブナ天然林なども含め、多彩な現地・経営体に学ぶことができます。森を木材だけでなく、生態系サービスとして見ると、世界が変わります。無限の可能性を秘めたフロンティアともいえる森林業への展開のヒントになります。自然が好きな皆さん、一緒にこの世界を目指しませんか？</p>
 <p>おおくぼ たつひろ 大久保 達弘</p>	<p>○生産や環境を目的とした里山林の取扱いと農地との一体的利活用に関する育林研究</p> <p>○温帯林から熱帯林の生態系修復に向けた森林植物の世代交代に関する生態研究</p> <p>○里山林生態系の環境放射線モニタリング</p> <p>https://researchmap.jp/ohkubo_tatsuhiko</p>	<p>森林が本来持っている再生力に関する生物学的な知識とその条件を達成するために必要な経済性を加味した総合技術学としての”森づくり”のあり方を学生の皆さんとともに広い見識から森林・林業の現場から考えていきたいと思ひます。</p>
 <p>ふじもと のぼる 藤本 登留</p>	<p>○スギ、ヒノキ等構造材の適正乾燥技術の開発</p> <p>○大型円盤材の割れ抑制技術に関する研究</p> <p>○各種処理木材の耐久性評価に関する研究</p> <p>https://researchmap.jp/read0172310</p>	<p>天然材料である木材は多様性にあふれています。工業材料としてはばらつきが大きく使いづらいところもありますが、魅力あふれる材料です。軽い割りに強く、ヒトとの相性も抜群です。</p>
 <p>ほり やすと 堀 靖人</p>	<p>○森林を活かした地域の問題解決手法の研究</p> <p>○林業や森林経営の担い手に関する研究</p> <p>○ドイツの森林と林業に関する研究</p> <p>https://researchmap.jp/jupi</p>	<p>地球温暖化に対する対策は待ったなしの状況です。また、生物多様性や SDGs の実現はこれからの社会には必要不可欠です。持続可能な農林業を確立することはこうした課題に応えることとなります。同時に持続的な地域経済、社会の実現にもつながっています。</p>
 <p>こやま かん 小山 敢</p>	<p>○林地で発生する土砂災害に関する研究</p> <p>○林道・作業道の適切な整備に関する研究</p> <p>○林業労働災害防止のための安全装備の普及に関する研究</p> <p>https://researchmap.jp/read0165958_koyama</p>	<p>森林に関わる仕事は、健康的で人生を豊かなものにしてくれます。このすばらしい森林業の発展のために、林地で発生するさまざまな災害の減災を図るための知識や考え方を習得しましょう。</p>

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 <p>すがぬま ひでき 菅 沼 秀樹</p>	<p>○温暖化対策としての植林地設計および炭素吸収量評価 ○バイオマス発電へのバイオマス燃料供給シナリオ等の分析 ○森林生態系の調査・分析 (地上計測&リモートセンシング)</p> <p>https://researchmap.jp/Arid-afforestation</p>	<p>森林業を通して地球的・地域的な課題を解決しようとする、様々な学問分野の知識が必要です (例: 森林生態、植物生理、測樹・測量、統計解析、Life Cycle Assessment、土壌物理、土壌化学、水文、熱力学、化学工学、etc.)。専門職大学の講義・演習・研究等を通じてその一端でも習得してもらえよう尽力いたします。</p> <p>脱炭素社会は企業活動の足枷ではなく将来のビジネスチャンスです。カーボンニュートラル&ネガティブを実現可能な森林業は、その可能性に溢れています。</p> <p>測量士試験、技術士一次試験、TOEIC L&R 等の在学中に受験可能な資格試験等の個別相談を随時受け付けます。</p>
 <p>うえの みつる 上野 満</p>	<p>○森林伐採の前後での生物多様性の変化の研究 ○立地環境の違いによる樹木の生育に関する研究 ○目的に応じた森の育て方の研究</p> <p>https://researchmap.jp/read0203177</p>	<p>森林の施業 (目的を持った森林管理) を行うためには、樹木の特性やそれを取り巻く環境に関する知識が必要です。森林の様々な機能発揮に向けた森林づくりを考えてみましょう。</p>
 <p>ふるさわ ゆか 古澤 優佳</p>	<p>○モウソウチクの栽培、管理、新たな利活用方法の研究 ○山菜有望品種の栽培期間短縮方法の研究 ○山菜・きのこ・広葉樹材の成分分析による付加価値増加に向けた研究 ○野生動物被害の調査と防除方法の研究</p> <p>https://researchmap.jp/yf2020</p>	<p>山菜やきのこといった非木材森林産品 (特用林産物) は、森林業の中でも数少ない、食に関する分野です。山の恵みを活用する方法を一緒に考えてみましょう。また、最近問題となっている、野生動物と人間との関わりについても学んでいきましょう。</p>
 <p>よしざき あきら 吉崎 明</p>	<p>○スギ人工林における冠雪害の発生要因と育林的被害低減技術について ○小中学校の教職員による学校教育における森林環境学習の進め方について ○チマキザサが優占する里山広葉樹二次林の更新技術について</p>	<p>森の中で森を感じ、森について考え、森の恵みを私たちの暮らしと結びつける技術者をめざす…。将来の選択肢の一つとして提案します。</p>